

穂(落)り

256人の笑顔。岩手県宮古市のフリーペーパー「Guff」編集部から送ってもらった特別号には、全国から寄せられた善意、そして家族や友人への思いをつづるメッセージボードを掲げた人たちの写真が並んでいます。優しくほほ笑む90歳のおじいさんの笑顔の写真には、「ありがとう」の文字。震災の影響でフリーペーパーを発行できなくなってしまう中、感謝の気持ちを表したいと製作されました。「Guff」ホームページでも見られます。仕事で使っているリュックサックの中に、お守りのようにしていつも入れていきます。

このコラムでは、被災地と
なってしまう宮古市の臨時災害ラジオ局「みやこさいがiefem」に、私が放送ボランティアとして滞在した時の出来事を中心に紹介してきました。この最終回では私の

「ありがとう」

鉄太郎

(ラジオパーソナリティー)

ため息が出る。でも知ってしまった。やるせなさや悲しみと向き合いつつながら故郷のために汗をかいた。家族を守るために、必死で働く人たち。沖繩と何も

そして自分が沖繩へ帰るときに目を真っ赤にして見送ってくれた人たち。一度つなぐた手を離したくない。それからこんな出会いができたのも自分の家族や仲間のおかげ。もっと感謝しなきゃいけないと思った。最後に。沖繩から宮古に駆けつけてくれた心ケアのスペシャリスト・琉球病院の皆さん、歌手の砂川恵理歌さん、名護市とそのボランティアチームの方々。支援物資を提供して下さったFM沖繩・FMよみだんとリスナーの皆さん。そしてこの私の拙い文章にお付き合いくださった皆さんへ心を込めて。「本当にありがとうございました！」